

事業No.	事業名	重点密集市街地整備費				担当部署	部名	都市整備部
							課名	都市計画課
126							電話	52-7390
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち					款	土木費
	政策名(章)	第 4 章 安心して暮らせるまちづくり				項	都市計画費	
	施策名(節)	第 2 節 災害に強いまちづくりの推進				目	都市計画総務費	
	実施計画掲載	有	30 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		社会資本整備総合交付金交付要綱						

事業目的	対象	誰を・何を	放生津地区住民					
	意図	どのような状態に	防災性の向上及び居住環境の改善を図り、子供からお年寄りまで多様な世代が安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めていく。					
事業内容	手段	どのような方法で	〔中町西部地区〕					
			<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の解体工事発注。(H24.4完成) ・建設協議会の開催。事業に対する最終意思決定を確認し、事業の参加合意を取りまとめる。 ・共同住宅の建設及び土地区画整理事業の施工者の決定。(H24.4月認可) 					
			〔全体〕					
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の生活再建を念頭に建物の更新を促進するため、老朽住宅の買取・除却や土地の交換分合、また、事業により住宅に困窮する従前居住者の受け皿となる共同住宅の借り上げ、そして公共施設の整備を図り地区の防災性の向上を図る。 					

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費	1,506,885 千円	財源内訳(千円)	国庫支出金	727,318	県支出金		市債	535,700	その他	40,320	一般財源	203,547
	整備内容	平成22年度			平成23年度			平成24年度					
		〔重点密集市街地整備事業〕 ・中町西部地区家屋等調査(50棟)、買収(10棟)、補償(8棟)、解体工事(1棟) ・奈呉町家屋等調査(1棟)、買収(2棟)、補償(1棟)、解体工事(4棟)			〔重点密集市街地整備事業〕 ・中町西部地区家屋等調査(12棟)、買収(34棟)、補償(29棟)、解体工事(27棟) ・奈呉町家屋等調査(3棟)			〔重点密集市街地整備事業〕 ・中町西部区画道路整備工事等 ・奈呉町・山王町・四十物町の家屋等調査(16棟)、買収(19棟)、補償(19棟)、解体工事(2棟)					

その他	特記事項等	【重点密集市街地について】 平成15年7月に国が公表した、延焼危険性が特に高く地震時等において大規模な火災の可能性があり、そのままでは今後10年以内に最低限の安全性を確保することが見込めない、重点的な改善が必要な密集市街地を「重点密集市街地」という。 〔全国で400地域、約8,000ha、県内では射水市放生津地区4haが指定された。〕										
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業 No.	126	事務事業名	重点密集市街地整備費	担当課	都市計画課
--------	-----	-------	------------	-----	-------

指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
			目標・見込	実績	達成率	
① 重点密集市街地整備事業(中町西部地区)	ha	0	0.4	0	0.0	0.4
②						
③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	85,516 千円	148,044 千円	73.1	227,055 千円
	正規職員人件費相当額	22,563 千円	22,236 千円	▲ 1.4	22,440 千円
	退職手当引当金相当額	3,270 千円	3,107 千円	▲ 5.0	3,135 千円
	事業コスト計	111,349 千円	173,387 千円	55.7	252,630 千円
財源内訳	国 県 支 出 金	36,951 千円	71,146 千円	92.5	111,750 千円
	そ の 他	29,300 千円	67,100 千円	129.0	92,400 千円
	一 般 財 源	45,098 千円	35,141 千円	▲ 22.1	48,480 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	3.27 人	3.27 人	0.0	3.30 人
	臨時職員	人	人		人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		—	—		
うち一般財源ベース分		—	—		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	放生津地区は、都市基盤が未整備のまま木造住宅を主体として市街地が形成され老朽建物が密集し、防災上危険な状態になっている。そのため、住民が快適な生活を営むために生活環境水準の確保が必要のため。
有効性	4	重点密集市街地整備事業は、施策の中でも類似・重複した事業はなく内容等を見直す余地がないが、事業完了後に期待される成果として、安全で安心して住み続けられるまちが形成される。
達成度	3	重点密集市街地整備事業の先行地区(中町西部地区)の進捗状況において、一部遅れているところはあるが目標に向かって順調に進んでいる。
効率性	4	放生津地区は、重点密集市街地として県内で唯一公表を受けた事業のため、従事人事の見直し及び事務改善によるコスト削減については期待はできないが、地区内の土地・建物を有効利用することにより、事業の改善が見込まれる。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>共同住宅を核としたまちづくりを進める地区において、個別意向を踏まえながら、土地利用計画の作成や、防災性の向上を図るため老朽住宅の除却を行い、すべての世帯が参加し、納得できる事業として進めていきたい。</p>				

事業 127	事業名	県民公園新港の森管理費負担金				担当部署	部名	都市整備部
		(公園維持管理費)					課名	都市計画課
事業期間		開始年度	昭和 58 年度	終了年度	-	電話	52 - 7390	
総合計画	施策の大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					款	土木費
	施策名(節)	第 2 節 住みよい生活環境の推進					項	都市計画費
	実施計画掲載	無	個別計画		目		公園費	
根拠法令・要綱等		県民公園新港の森管理運営協議会規約						

事業目的	対象	交付先	富山県知事					
	意図	交付目的	県民公園新港の森は、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するため緩衝緑地として地域住民に憩いの場を提供するために設置され、併せて野球場及び遊歩道など様々な施設があり、公園利用者から憩いの空間としても親しまれていることから、適正な維持管理を図ることを目的としている。					
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動	植物管理(樹木剪定、防除、芝刈り、除草等)、園内・トイレ・駐車場等清掃、公園施設点検管理等適宜					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				
		定額補助					
定率補助		富山県で精算した額の12.5%					
	その他						

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
設備・規模						

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業	127	事務事業名	県民公園新港の森管理費負担金	担当課	都市計画課
----	-----	-------	----------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	維持管理	m ²	96,991	96,991	96,991	100.0	96,991

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	4,660 千円	5,746 千円	23.3	5,592 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	2,277 千円	2,244 千円	1.4	2,244 千円
	退職手当引当金相当額	330 千円	314 千円	5.0	314 千円
	事業コスト計	7,267 千円	8,304 千円	14.3	8,150 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	7,267 千円	8,304 千円	14.3	8,150 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.33 人	0.33 人	0.0	0.33 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与しており、併せて公園利用者のための安全で快適な環境の確保の向上など、安全で安心して利用できる公園の維持管理は、極めて重要で必要不可欠なことである。
有効性	4	公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与していることから住環境の向上が図られ、併せて公園利用者の安全で快適な公園環境を確保することができる。
効率性	4	各分野において精通しかつ有資格者が在籍している業者に委託していることから、有効的かつ効率的な維持管理が図られている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
引き続き、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止し、地域住民に憩いの場を提供していくためにも、より一層、良好な住環境を形成することに寄与していくとともに、公園利用者の安全で快適な環境の確保の向上など、安全で安心して利用できる公園の適正な維持管理に努めていきたい。				

事業 128	事業 業務名	富山新港東部地区公園緑地協会				担当 部署	部名	都市整備部
		(公園維持管理費)					課名	都市計画課
事業 期間		開始 年度	昭和 51 年度	終了 年度	-	電話	52 - 7390	
総合 計画	施策の 大綱	第 4 部 快適で安心して暮らせるまち				予算 科目	会計	一般会計
	政策名 (章)	第 3 章 快適で住みよいまちづくり					款	土木費
	施策名 (節)	第 1 節 魅力的な住宅環境の充実					項	都市計画費
	実施計画 掲載	無		個別計画			目	公園費
根拠法令・要綱等		富山新港東部地区公園緑地協会規約						

事業 目的	対象 交付先	富山新港東部地区公園緑地協会					
	意図 交付目的	富山新港東部地区公園緑地協会は、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するため緩衝緑地として地域住民に憩いの場を提供するために設置された堀岡緑地の適正な維持管理を図ることを目的としている。					
事業 内容	手段 補助金等の 交付を 受ける 実施する 主な活動	除草(2回/年)、樹木剪定及び伐採等(1回/年)					

補助 金 事業	類型 区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()		
	補助 内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		1,170,000円/年				
	その他					

施設 管理 運営 事業	施設 名					管理 形態		
						指定 管理者名		
	構造・ 階数					指定 管理期間		
	建築 年度	改修 年度					類似 施設状況	
	耐震の 有無	延床 面積					民間 施設状況	
設備・ 規模								

施設 等 整備 事業	総 事業 費	財源内訳 (千円)	国庫 支出金	県支 出金	市債	その他	一般 財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備 内容						

その他	特記 事項等	
-----	-----------	--

事業	128	事務事業名	富山新港東部地区公園緑地協力会	担当課	都市計画課
----	-----	-------	-----------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	維持管理	m ²	36,527	36,527	36,527	100.0	36,527

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	1,170 千円	1,170 千円	0.0	1,170 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	2,277 千円	2,244 千円	1.4	2,244 千円
	退職手当引当金相当額	330 千円	314 千円	5.0	314 千円
	事業コスト計	3,777 千円	3,728 千円	1.3	3,728 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	3,777 千円	3,728 千円	1.3	3,728 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.33 人	0.33 人	0.0	0.33 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与していることから、緑地の維持管理は、極めて重要で必要不可欠なことである。
有効性	4	公害を防止するための緩衝緑地として良好な住環境を形成することに寄与していることから住環境の向上が図られる。
効率性	4	造園などの有資格者が在籍している樹木等に精通した業者に委託していることから、有効的かつ効率的な維持管理が図られている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
引き続き、伏木富山港臨海工業地帯からの公害を防止し、地域住民に憩いの場を提供していくためにも、より一層、良好な住環境を形成することに寄与するとともに、適正な維持管理に努めていきたい。				